

最適なFAシステムと 光学検査を提供



株式会社ケー・デー・イー

1500のモータを駆使する 画期的ソリユシヨシステム

ケー・デー・イーは、FAシステム関連のソリユシヨシステム事業部と光学検査が主なナノスコップ事業部の大きく2つの事業を柱としている。ソリユシヨシステム事業部を主としていたケー・デー・イーと、光学検査システム事業を主としていた株式会社ナノスコップが平成19年に合併して誕生した。

ソリユシヨシステム事業部は、工場で使用する機械群をコントロールするためのシステムを構築している。できるだけ生産効率を上げたいという各企業の願いを実現するには、機械間の制御を上手に行わなければならない。同社は可変速モータやサーボモータ等の約1500個ものモータを組み合わせて、さらに高速・高精度の位置決めモーションコントロール機能やシーケンス制御機能を一体化したソリユシヨシステムをつくれるのが強みだ。

例えば液晶TVの場合、温度制御、切断、ハンドリングといった業務フロー

があるが、ソフト面も自社で作製している同社のシステムはこれらを効率よくミスなく最適化できる。

最小10μmの分解能で 確実に画像処理

ナノスコップ事業部は液晶TVやプラズマディスプレイ、有機EL等のガラスの外観検査を手がけている。ガラスにパターンを形成する際に、クラックやカレット、ゴミ等が付着していると欠陥品となる。そのためパネルメーカーに搬入される前に検査して、これらを事前に取り除く必要がある。

外観検査にはCCDカメラを利用し、搬送コンベアで移動中のガラスをモニターする。撮影したデータはコンピュータで画像化、欠陥を発見すると当該箇所印を付けて切り取る。光学検査においてはなによりも見えるようにするのが大事だが、ガラスは透明なため撮影自体が難しい。しかし同社は画像化するための光の当て方等に独自のノウハウを持っており、分解能は最小10μmという。またガラスだけでなくプラスチックにも対応で

きるという、今後は非球面レンズの検査や3次元の画像処理にも取り組んでいく考えだ。

橋詰政和社長は「人間の体に例えると、光学検査の画像処理は目に、モーションコントロールは体にあたります。人間と同じように目で見て、体を動かすことが可能になるのです。従来は目と体が分離していた面がありますが、両者をうまく組み合わせると新しいことが可能になります。チャレンジ精神を失わずに、新事業にも取り組んでいきたいですね」と夢を語る。

主な事業内容

検査機・計測システム、モーションコントロールシステム、FAシステム、モーション&ビジョンシステム、液晶硝子製造・加工ライン用検査システムの開発等



橋詰政和さん
代表取締役社長

株式会社ケー・デー・イー

Company
Profile

住所／〒555-0021
大阪府大阪市西淀川区歌島2-1-5
設立／昭和49年4月
資本金／3,020万円
従業員／32名（平成21年1月現在）
TEL／06-6472-2043
FAX／06-6475-2961

関西
19

<http://www.kde.co.jp/>